



令和8年6月15日

報道関係各位

国立大学法人弘前大学

白神BioBlitz2026 in 大鰐町あじやらの森キャンプ場の開催について

【本件のポイント】

- ・第4回目となる白神山地生物多様性集中調査（白神 BioBlitz）が6月20日11時から24時間、大鰐町あじやらの森キャンプ場にて開催される。主催は農学生命科学部附属白神自然環境研究センター。
- ・これまで最多の参加人数、総勢約160名で実施。様々な生物分野の研究者も参加。生物多様性調査では国内で最大級の規模で行われる。
- ・一般参加者は県内外の小学生から様々な年代の生き物好きが集結。

【本件の概要】

白神山地世界自然遺産登録30周年を迎えた2023年、鱒ヶ沢町で初めて実施された白神山地生物多様性集中調査（白神BioBlitz）は、2024年西目屋村、2025年深浦町とめぐり、本年は大鰐町との共催で、あじやらの森キャンプ場周辺で行われることとなりました。BioBlitzとは日本ではあまりなじみのない言葉ですが、欧米では博物館などが主催となり行われている市民参加型の生物調査イベントです。

決められた地域の動植物を、子供を含む市民が動植物の専門家と一緒に、24時間かけて調査します。調査結果は報告書にまとめられ出版されます。

このイベントの狙いは、

- ・地域の自然と奥深い生物の種多様性を知る
- ・動植物の研究者と接し専門的な知識や技法を知る
- ・市民が記録の残る調査活動に参加する
- ・単純に自然に触れ、生き物を知る事を楽しむ

であり、一般的な観察会や散策とはちょっと違う自然との新しい接し方を楽しんでもいただけたらと思います。また、スタッフ参加の大学生、大学院生には、子供たちや一般の方々、研究者と共有する時間から新たな学びも得てほしいと考えています。

詳細は添付する資料もご覧ください。



HIROSAKI
UNIVERSITY

プレス発表資料
PRESS RELEASE

【情報解禁日時】 なし

【取材に関するお問い合わせ先】

| | |
|-----------------|---|
| (所 属) | 農学生命科学部附属白神自然環境研究センター |
| (役職・氏名) | 教授 中村剛之、准教授 山岸洋貴 |
| (電話・FAX) | 0172-39-3707 -3706 |
| (E - m a i l) | dhalma@hirosaki-u.ac.jp hyama@hirosaki-u.ac.jp |

白神 BioBlitz

2026 in 大鰐町あじらの森キャンプ場

白神山地生物多様性集中調査大作戦！ with 弘前大学白神自然環境研究センター

白神 Bioblitz2026 in 大鰐町あじらの森キャンプ場 開催要項

会場：青森県大鰐町
あじらの森キャンプ場 (以下キャンプ場と呼びます)
当日は現地集合。自家用車でお越しください。

日時：2026年6月20日(土) AM10:00～
6月21日(日) AM11:30 (24時間調査)

参加費：大人 1,000 円 子供 500 円
(保険料・資料代・茶菓代など)
この他、参加形態によって食費、宿泊費が別途かかります。
(経験不問。小中学生は保護者と一緒に参加してください)

専門家スタッフ

学外専門家：太田藍乃 (土壌動物：国立科学博物館)、小西和彦 (昆虫：元愛媛大学博物館)、古木達郎 (コケ：元千葉県立中央博物館)、梅津一史 (昆虫：元秋田県立博物館)、臼井平 (魚類：知床博物館)、樋口真人 (植物・昆虫：知床博物館)、成田徹 (鳥：日本野鳥の会弘前支部)、太田正文 (コケ：元青森県立郷土館)、作山宗樹 (コウモリ：コウモリの保護を考える会)。

弘前大学教員・研究員：殿内暁夫 (キノコ)、橋下洸哉 (昆虫)、ムラノ千恵 (哺乳類)、中村剛之 (昆虫)、山岸洋貴 (植物)、相馬純 (昆虫)、池本美都 (植物)。

参加団体：津軽植物の会、津軽昆虫同好会、白神キノコの会、日本野鳥の会弘前支部、コウモリの保護を考える会、弘前大学フィールドサイエンス研究会、ほか。



バイオブリッツ BioBlitz とは

BioBlitz は国内では馴染みの少ないものと思いますが、欧米を中心に博物館などが主催で行われている市民参加型の生物調査イベントです。

動植物の専門家と、子供を含む市民と一緒に、決められた地域の動植物を 24 時間かけて調査します。調査結果は報告書にまとめられ出版されます。このイベントの狙いは、

- ・地域の自然と奥深い生物の種多様性を知る。
- ・動植物の研究者と接し、専門的な知識や技法を知る。
- ・市民が記録の残る調査活動に参加する。
- ・単純に、自然に触れ、生き物を知る事を楽しむ。

一般的な観察会や散策とはちょっと違う自然との新しい接し方を楽しみましょう。



専門家と一緒に調査

屋内での調べ作業

事務局 (申し込み、各種問い合わせ)

弘前大学農学生命科学部附属 白神自然環境研究センター

「BioBlitz 2026」担当 中村剛之

dhalma@hirosaki-u.ac.jp 電話 0172-39-3707

調査地 " あじらの森キャンプ場 "

今回の調査地は津軽平野の南端、大鰐町にあるキャンプ場とその周辺です。この場所は白神山地から広がる山塊の東の端にあたります。阿闍羅山 (alt. 709m) の麓にあったスキー場の跡地で、北側には小高い丘 大高森 (alt. 369m, 写真下) があります。周囲はスギなどの植林や草地が中心です。白神山地を代表するブナやミズナラの自然林ではありませんが、雑木林も見られ、林縁部や草地など開けた場所特有の動植物が確認されるものと思います(写真↓)。調査地内には小さな沢もあり、こちらも楽しみです。下見中、キツネやノスリの姿も見ることができました。

人の手が加わった場所ですが、この地域の現在の姿を調査して記録に残し、自然の変化をモニタリングすることはとても意義のあることと考えています。今回のBioBlitzではキャンプ場の管理棟(地図中赤い星印)をメイン会場とし、キャンプ場周辺を調査します。



国土地理院 地形図より



本部前から見る 大高森

活動内容

キャンプ場とその周辺に生息する維管束植物やコケ類などの植物、昆虫や鳥などの動物をできるだけ多く採集、撮影、記録して、この森の住民票(インベントリ)を作成します。確認した動植物は本部に情報を集め、皆で記録を確認したり、観察できるように展示します。

〔予定している主な活動〕

- ★ 植物調査 (種子植物・シダ植物・コケ類)
- ★ 菌類調査 (キノコ)
- ★ 動物調査 (鳥・哺乳類・両生爬虫類・昆虫・クモ・陸貝等)
ライトトラップおよびコウモリハーブトラップ(夜間)
各種昆虫トラップの設置 小型哺乳類位の捕獲
トレイルカメラ(主に夜間)による哺乳動物の撮影
早朝の探鳥会(4時起き!)
- ★ ナイトハイク 夜の林道を懐中電灯を頼りに散策。夜の森林を観察します。
- ★ 屋内活動 生物の同定・観察・記録・標本作成。
確認した生き物の生体展示。
楽しくおしゃべり。

調査結果は年度末に出版する報告書に掲載します。

調査以外にも時間を決めて様々な活動に取り組みます。参加自由。調査の合間に参加してください。



キャンプ場からの眺め 正面には岩木山



白神 BioBlitz 2026 本部「管理棟」

